

平成16年3月期 第1四半期業績の概況(連結) 平成15年8月11日

上場会社名 名古屋鉄道株式会社 (コード番号:9048 東証・名証第一部)

(URL http://www.meitetsu.co.jp)

代表者 取締役社長 木村 操
 問合せ先責任者 専務取締役関連事業部長 坂井 昌治 (TEL(052)571-2111)

1. 四半期業績の概況の作成等に係る事項

会計処理の方法の最近連結会計年度 : 無
 における認識の方法との相違の有無
 連結及び持分法の適用範囲の異動の状況 : 有
 連結(新規)3社 (除外)5社
 持分法(新規)1社 (除外)1社

2. 平成16年3月期第1四半期の業績概況(平成15年4月1日 ~ 平成15年6月30日)

(1) 経営成績(連結)の進捗状況 (注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

	売上高	営業利益	経常利益	当期(四半期)純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円
16年3月期第1四半期	179,706	6,225	3,679	927
(参考)15年3月期	798,926	31,696	23,870	47,385

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
16年3月期第1四半期	1.13	1.10
(参考)15年3月期	57.85	-

(注) 四半期決算の開示は、当年第1四半期より実施しておりますので、前年同四半期(15年3月期 第1四半期)の実績は記載しておりません。また、前年同四半期との比較についても行っておりません。

[経営成績(連結)の進捗状況に関する定性的情報等]

国内経済は、イラク戦争の影響に加え、世界的な景気後退の懸念が高まり、消費、設備投資とも低調のうえ、株式市場も低迷しており、景気回復に兆しは依然見えず、当社グループについても厳しい状況で推移しました。

このような状況の中、当第1四半期(平成15年4月1日から平成15年6月30日まで)における当社グループの営業収益は1,797億6百万円、営業利益は62億25百万円となりました。

なお、当社グループでは、当四半期において新たに設立された、(株)名鉄システム開発<新>、華陽自動車興業(株)<新>及びセントレアホテル(株)の3社を連結の範囲に含めております。

一方、名古屋電気工業(株)は、従来連結子会社であった名古屋電子エンジニアリング(株)及び名鉄エンジニアリング(株)と合併し、商号を(株)メイエレクトリックに変更しております。

また、名鉄自動車整備(株)は、従来連結子会社であった福井名鉄自動車整備(株)及び(株)名鉄カードックと、新設された華陽自動車興業(株)<新>は従来連結子会社であった華陽自動車興業(株)<旧>と、それぞれ合併しております。

また、当四半期において、(株)ミヤコーが新たに関連会社となり、持分法を適用しております。

事業の種類別セグメントの業績の概況は、次のとおりであります。

（運輸事業）

鉄軌道事業については、輸送人員は微減であります。名古屋市営地下鉄上飯田線との相互直通運転により小牧線の利用人員は増加しております。また、ストアードフェアカード「SF パノラマカード」システムの名古屋本線等への拡大など旅客サービスの向上に努めております。

バス事業については、当社では都市間高速バス高針線の運行を開始したほか、子会社各社とも新規路線の開拓努力をするなど、利用促進を図っております。

タクシー事業については、代行運転及び介護タクシーなど新たなサービスを開始し、顧客確保に努めております。

トラック事業については、規制緩和により依然料金の下落傾向は続いておりますが、名鉄運輸㈱では、需要の新規開拓をめざして本年6月に特定信書便事業の許可を受けました。

航空事業については、一部通勤路線で需要の減少もありましたが、前年に引き続き新規路線を開設したほか、海運事業については、太平洋フェリー㈱では、多様化する利用形態に合わせた料金体系を新たに設定するなど、それぞれ需要の喚起に努めました。

この結果、運輸事業の営業収益は844億68百万円となり、営業利益は49億33百万円となりました。

（不動産事業）

不動産賃貸業については、当社において多様化する需要に合わせて賃貸ビルの改修等を進めておりますほか、不動産分譲業については、当社において多治見緑台などで積極的な販売を展開し、名鉄不動産㈱においても、「メイツ」「M's City」のマンション分譲販売が順調に推移しております。この結果、不動産事業の営業収益は115億31百万円となり、営業利益は31億48百万円となりました。

（レジャー事業）

ホテル業については、名鉄グランドホテルではポイントカードシステムを始めたほか、ホテル穂高では、本年4月に穂高連峰のロケーションにマッチした明るい山小屋風にリニューアルオープンするなど、利用促進に努めました。

観光施設については、当社では明治村で「明治万国博覧会」を、リトルワールドで「スペインサーカス」を開催したほか、長島スポーツランドではクアハウスを本年4月に改装するなど、集客に努めております。

旅行業については、新型肺炎(SARS)などの影響により海外旅行客が著しく減少しておりますが、積極的な販売に努めるなど増収を図っています。

この結果、レジャー事業の営業収益は197億56百万円となり、営業損失は22億45百万円となりました。

（流通事業）

百貨店業については、デフレ傾向を反映して購買単価の低下や法人需要の低迷が続くなど厳しい商業環境にあります。名鉄百貨店では、新ショップ・新ブランドの導入により本店のフロア構成の見直しなどを行い、多様化する顧客ニーズにあった店舗展開を行っております。

ストア業については、大型ショッピングセンターが相次ぎ出店するなど地域商圏に大きな変化が見られるなか、名鉄バレーでは、店舗改装を行ったほか、ポイントカード「パレプラスカード」など顧客サービスの向上に努めております。

この結果、流通事業の営業収益は626億22百万円となり、営業利益は9億4百万円となりました。

（その他の事業）

保守設備事業については、本年4月に名古屋電気工業㈱が、連結子会社である名古屋電子エンジニアリング㈱と名鉄エンジニアリング㈱と合併したほか、名鉄自動車整備㈱が、子会社2社と合併するなど、間接部門の経費削減等より効率的な経営を目指しております。

空港関連事業については、イラク戦争以後の国際線利用客の減少により業績は悪化しておりますが、中部国際空港開港に向けて実績確保に努めております。

この結果、その他の事業の営業収益は153億79百万円となり、営業損失は5億14百万円となりました。

(2) 財政状態 (連結) の変動状況

	総資産	株主資本	株主資本比率	1株当たり株主資本
16年3月期第1四半期	百万円 1,299,159	百万円 131,887	% 10.2	円 銭 161.09
(参考) 15年3月期	1,296,531	127,862	9.9	156.14

【連結キャッシュ・フローの状況】

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金 同等物期末残高
16年3月期第1四半期	百万円 18,196	百万円 25,545	百万円 7,990	百万円 48,243
(参考) 15年3月期	61,143	42,327	10,212	47,547

(注) 四半期決算の開示は当第1四半期より実施しておりますので、前年同四半期(15年3月期 第1四半期)の実績は記載しておりません。また、前年同四半期との比較についても行っておりません。

[財政状態(連結)の変動状況に関する定性的情報等]

当第1四半期末においては、総資産が前期末に比し26億28百万円増加しております。これは、主として営業債権の回収による減少、設備投資に係る建設仮勘定の増加及び投資有価証券の時価評価の増加によるものであります。一方、当社グループ全体で借入金等有利子負債が前期末に比し80億3百万円増加しております。

なお、当社においては本年6月開催の定時株主総会においてご決議をいただき、別途積立金及び利益準備金の全額及び、資本準備金の一部を取崩し、欠損填補しております。

また、当第1四半期末の現金及び現金同等物は、営業活動によるキャッシュ・フローが売上債権の回収及び減価償却費などにより181億96百万円となったほか、投資活動によるキャッシュ・フローが固定資産の取得による支出などにより255億45百万円となり、財務活動によるキャッシュ・フローが長期借入金の増加などにより79億90百万円となり、当第1四半期末には、前期末に比し6億96百万円増加し482億43百万円となりました。

(参考1) 第1四半期個別経営成績等の概況(平成15年4月1日 ~ 平成15年6月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
16年3月期第1四半期	百万円 30,510	百万円 5,377	百万円 3,839	百万円 2,353

	総資産	株主資本
16年3月期第1四半期	百万円 811,980	百万円 142,195

3. 平成16年3月期の連結業績予想（平成15年4月1日～平成16年3月31日）

	予想売上高	予想経常利益	予想当期純利益	1株当たり予想当期純利益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
中間期	385,000	6,400	2,200	2.69
通期	789,100	23,200	8,000	9.77

当社グループを取り巻く経営環境は依然として厳しい状況が続いておりますが、当社グループは、本年1月に策定した「名鉄グループ新中期経営計画」の実現に向けて経営に邁進しております。

平成16年3月期の中間期及び通期につきましては、連結及び個別とも、本年5月26日に発表いたしました業績予想からの変更はありません。なお、この業績予想は発表日現在で入手可能な情報に基づき作成したものでありますので、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

（参考2）平成16年3月期の個別業績予想（平成15年4月1日～平成16年3月31日）

	予想売上高	予想経常利益	予想当期純利益	1株当たり年間予想配当金		
				中 間	期 末	
	百万円	百万円	百万円	円 銭	円 銭	円 銭
中間期	61,400	6,100	3,600	0.00	—	—
通期	120,400	11,800	4,800	—	2.50	2.50

以上

添付資料

四半期連結(要約)貸借対照表

科 目	当第1四半期	前 期
	(平成15年6月30日現在)	(平成15年3月31日現在)
(資産の部)	百万円	百万円
流動資産	254,471	255,493
現金及び預金	50,901	50,198
受取手形及び売掛金	66,179	75,726
有価証券	59	66
分譲土地及びたな卸資産	100,544	94,729
繰延税金資産	5,738	5,991
その他	32,083	30,010
貸倒引当金	1,034	1,228
固定資産	1,044,443	1,040,786
有形固定資産	874,718	872,396
無形固定資産	12,790	12,936
投資その他の資産	156,934	155,453
投資有価証券	82,989	78,304
繰延税金資産	38,119	41,149
その他	39,816	40,309
貸倒引当金	3,992	4,309
繰延資産	245	250
資産合計	1,299,159	1,296,531
(負債の部)	百万円	百万円
流動負債	568,543	580,784
支払手形及び買掛金	87,153	98,477
短期借入金	308,983	313,593
1年以内に償還する社債	33,028	33,028
繰延税金負債	24	23
従業員預り金	36,941	37,095
その他	102,411	98,566
固定負債	579,343	568,183
社債	145,917	145,417
長期借入金	298,060	285,794
繰延税金負債	45,326	45,229
退職給付引当金	51,495	51,972
連結調整勘定	923	1,008
その他	37,620	38,760
負債合計	1,147,886	1,148,967
(少数株主持分)		
少数株主持分	19,385	19,701
(資本の部)		
資本金	74,357	74,357
資本剰余金	6,040	54,069
利益剰余金	335	48,503
土地再評価差額金	44,028	43,722
その他有価証券評価差額金	10,331	7,517
為替換算調整勘定	2,815	2,927
自己株式	389	374
資本合計	131,887	127,862
負債、少数株主持分及び資本合計	1,299,159	1,296,531

四半期連結(要約)損益計算書

	当第1四半期 平成15年4月 1日から 平成15年6月30日まで	前 期 平成14年4月 1日から 平成15年3月31日まで
	百万円	百万円
営業収益	179,706	798,926
営業費	173,481	767,230
1 運輸業等営業費 及び売上原価	152,351	681,318
2 販売費 及び一般管理費	21,129	85,912
営業利益	6,225	31,696
営業外収益	1,077	6,536
営業外費用	3,623	14,362
経常利益	3,679	23,870
特別利益	1,329	11,601
特別損失	1,282	96,494
税金等調整前四半期(当期) 純利益又は純損失()	3,725	61,022
法人税、住民税 及び事業税	1,444	7,112
法人税等調整額	1,847	21,151
小計	3,291	14,039
少数株主損益	493	402
四半期(当期)純利益 又は純損失()	927	47,385

四半期連結(要約)キャッシュ・フロー計算書

科 目	当 第 1 四 半 期 平成15年4月1日から 平成15年6月30日まで	前 期 平成14年4月1日から 平成15年3月31日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	百万円	百万円
税金等調整前四半期(当期)純損益(純損失：)	3,725	61,022
減価償却費	9,655	58,194
連結調整勘定償却額	74	1,093
引当金の増減額(減少：)	4,514	9,284
受取利息及び受取配当金	244	1,290
支払利息	3,046	13,085
持分法による投資損益(利益：)	14	1,168
固定資産処分損益等	524	23,720
投資有価証券売却損益等	100	12,620
売上債権の増減額(減少：)	10,655	10,282
たな卸資産の増減額(減少：)	6,689	2,183
仕入債務の増減額(減少：)	6,983	4,634
その他	1,406	13,853
小計	24,559	83,283
利息及び配当金の受取額	288	1,145
利息の支払額	2,558	13,335
割増退職金の支払額	2	103
法人税等の支払額	4,090	9,845
営業活動によるキャッシュ・フロー	18,196	61,143
投資活動によるキャッシュ・フロー		
固定資産の取得による支出	30,964	66,687
固定資産の売却による収入	2,551	8,866
投資有価証券の取得による支出	78	7,045
投資有価証券の売却及び償還による収入	355	2,726
その他	2,591	19,813
投資活動によるキャッシュ・フロー	25,545	42,327
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の増減額	2,811	39,835
長期借入による収入	25,566	115,351
長期借入金の返済による支出	15,171	89,876
日本鉄道建設公団に対する未払金返済による支出	-	1,426
社債発行による収入	480	53,560
社債の償還による支出	-	46,582
自己株式の取得による支出	15	301
配当金の支払額	58	1,102
財務活動によるキャッシュ・フロー	7,990	10,212
現金及び現金同等物に係る換算差額	54	55
現金及び現金同等物の増加額又は減少額()	696	8,548
現金及び現金同等物の期首残高	47,547	38,987
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加高	-	11
現金及び現金同等物第1四半期(当期)期末残高	48,243	47,547

セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

<当 第 1 四 半 期 (平成 15 年 4 月 1 日 ~ 平成 15 年 6 月 30 日) >

	運 輸 事 業	不 動 産 事 業	レ ジ ャ ー 事 業	流 通 事 業	そ の 他 の 事 業	計	消 去 又 は 全 社	連 結
	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円
営業収益及び営業損益								
営業収益								
(1) 外部顧客に対する営業収益	83,290	8,906	18,215	59,554	9,738	179,706	-	179,706
(2) セグメント間の内部営業収益 又は振替高	1,177	2,624	1,540	3,068	5,640	14,052	(14,052)	-
計	84,468	11,531	19,756	62,622	15,379	193,759	(14,052)	179,706
営業費用	79,535	8,383	22,001	61,718	15,894	187,533	(14,051)	173,481
営業利益又は営業損失()	4,933	3,148	2,245	904	514	6,226	(0)	6,225

<前 期 (平成 14 年 4 月 1 日 ~ 平成 15 年 3 月 31 日) >

	運 輸 事 業	不 動 産 事 業	レ ジ ャ ー 事 業	流 通 事 業	そ の 他 の 事 業	計	消 去 又 は 全 社	連 結
	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円
営業収益及び営業損益								
営業収益								
(1) 外部顧客に対する営業収益	344,164	68,116	92,633	245,659	48,353	798,926	-	798,926
(2) セグメント間の内部営業収益 又は振替高	5,203	10,768	5,295	12,836	35,383	69,487	(69,487)	-
計	349,368	78,884	97,928	258,495	83,737	868,414	(69,487)	798,926
営業費用	332,960	66,156	99,487	257,139	80,900	836,645	(69,414)	767,230
営業利益又は営業損失()	16,407	12,728	1,559	1,356	2,836	31,769	(72)	31,696

(注) 1. 事業区分は日本標準産業分類をベースにした区分によっております。

2. 各事業の主要な内容

- (1) 運 輸 事 業……………鉄道、乗合・貸切バス、タクシー、トラック、海運
- (2) 不 動 産 事 業……………不動産の分譲・賃貸
- (3) レジヤ ー 事 業……………ホテル・レストラン・観光施設の経営、旅行あつ旋
- (4) 流 通 事 業……………百貨店・ストア業、石油製品等の販売、商品販売
- (5) そ の 他 の 事 業……………設備の保守・整備、建設、情報処理等